湘南日中ニュース
２０２６年９月号（No.58）
２０２６年９月１日
湘南日本中国友好協会事務局
藤沢市羽鳥 3-15-19　上野篤志方
電話(FAX 兼用)　0466-33-0870
HP　http://www.shonan-jcfa.com/

聶耳先生に誓う日中友好

(碑前祭での献花が終わり、鈴木市長と渡辺会長を囲んで中国大使館の皆さん。前列右から２人目が韓強公使参事官)

７月１７日(金)午前９時半から聶耳記念広場で聶耳記念碑碑前祭が開催され、藤沢市、藤沢市議会、中国大使館をはじめ関係団体から多くの来賓や市民が参列しました。主催者である聶耳記念碑保存会の渡辺光雄会長の挨拶の後、鈴木恒夫藤沢市長、韓強中国大使館公使参事官からも挨拶がありました。韓公使は挨拶の中で、中国国歌作曲者である聶耳の記念碑が１９５４年の建立以来、藤沢の行政や市民の手により守り続けられてきたことに感謝するとともに、聶耳を絆とした日中友好がますます発展していくことを強く願うと述べられました。その後藤沢市消防音楽隊が「義勇軍行進曲」を演奏するなか、多くの参列者による記念碑への献花が行われました。

また碑前祭には今年の湘南中国語スピーチコンテストで優勝した秦伊吹さん(大学生の部)と三津山六花さん(高校生の部)も若い世代を代表して参列し、中国語や文化を学ぶことにより日中友好をさらに深めるための架け橋として貢献したいとそれぞれ挨拶しました。未来を担う若い世代の人たちが、碑前祭を通じて日中友好の輪に加わることは大変喜ばしいことです。私たち湘南日中としても藤沢市と連携しながら、日中青少年の交流活動に積極的に取り組んでいく考えです。

(碑前祭で挨拶する秦伊吹さん(左)と三津山六花さん)

また昨年１１月の高市発言以降厳しい日中関係が続くなか、今年は藤沢市と昆明市が友好都市提携をしてから４５周年の記念すべき節目の年でもあります。周恩来総理が掲げた「以民促官」の精神を忘れず、子々孫々に日中友好の輪を拡げていきたいと思います。

碑前祭で湘南日中も献花

７月１７日に行われた聶耳記念碑碑前祭には湘南日中から柳田会長以下約２０名の会員が参加、献花をしました。暑いなか参加された皆さま、大変ご苦労さまでした。

聶耳記念広場の清掃活動

毎月第三日曜日に会員が集まり、聶耳記念広場の清掃ボランティアを行っています。観光シーズン中は飲物の缶やペットボトル、たばこの吸い殻が捨てられるなど心無い行為が目立ちます。日中友好のシンボルである聶耳記念広場の美化保全をはかるため、会員の皆様の参加を呼びかけます。時間は午前１０時に集合し、３０分ほどの清掃作業を行います。

彩雲基金へのご寄付のお願い

友好都市・昆明市で日本語を学ぶ学生たちを対象に毎年スピーチコンテストを開催し、特等賞の学生を日本に招待しています。言語を通じて日本の文化を知る貴重な機会を提供し、将来の日中友好の懸け橋となる若い世代を育てています。そのために必要な資金をご支援していただきたく皆さまのご寄付をお願いいたします。

《寄付金の振込口座》

ゆうちょ銀行　00230-2-47875　「彩雲基金」

横浜銀行辻堂支店（普通預金）1603294

「彩雲基金会計 岡部初子」

青少年訪中団に参加

(紹興で魯迅故里、周恩来記念館、紹興酒博物館を見学)

昨年に引き続き中国大使館の主催による日本青少年訪中団が８月２３日～２９日の日程で、上海、南京、紹興、杭州などを訪問しました。藤沢市からは服部さんと中村さんの２人の学生が参加し、現地の青少年との交流や中国の歴史的記念館などの見学をしました。今後も中国大使館と連携し、日中の青少年交流を活発化していきたいと思います。

事務局から　トランプ米大統領の暴挙は留まるところを知らない。関税、ベネズエラ、イラン、…世界中を混乱の渦に巻き込んでいる。メキシコ湾をアメリカ湾に、オンタリオ湖をアメリカ湖に変更する大統領令を出すなど、余りにも子供じみている。そして今度は国際刑事裁判所(ICC)の赤根智子所長を制裁対象に指定した。ICC がイスラエルの首相らに戦争犯罪人として逮捕状を発付したことが理由らしい。「法の支配」を否定し、大国による「力の支配」へ世界を逆行させるトランプに赤根氏は毅然と反論する。「ICC は決して負けない。正義は常にこれと対極にあるものに優越する。信念を貫きます」と。真に尊敬できる女性だ(上野)